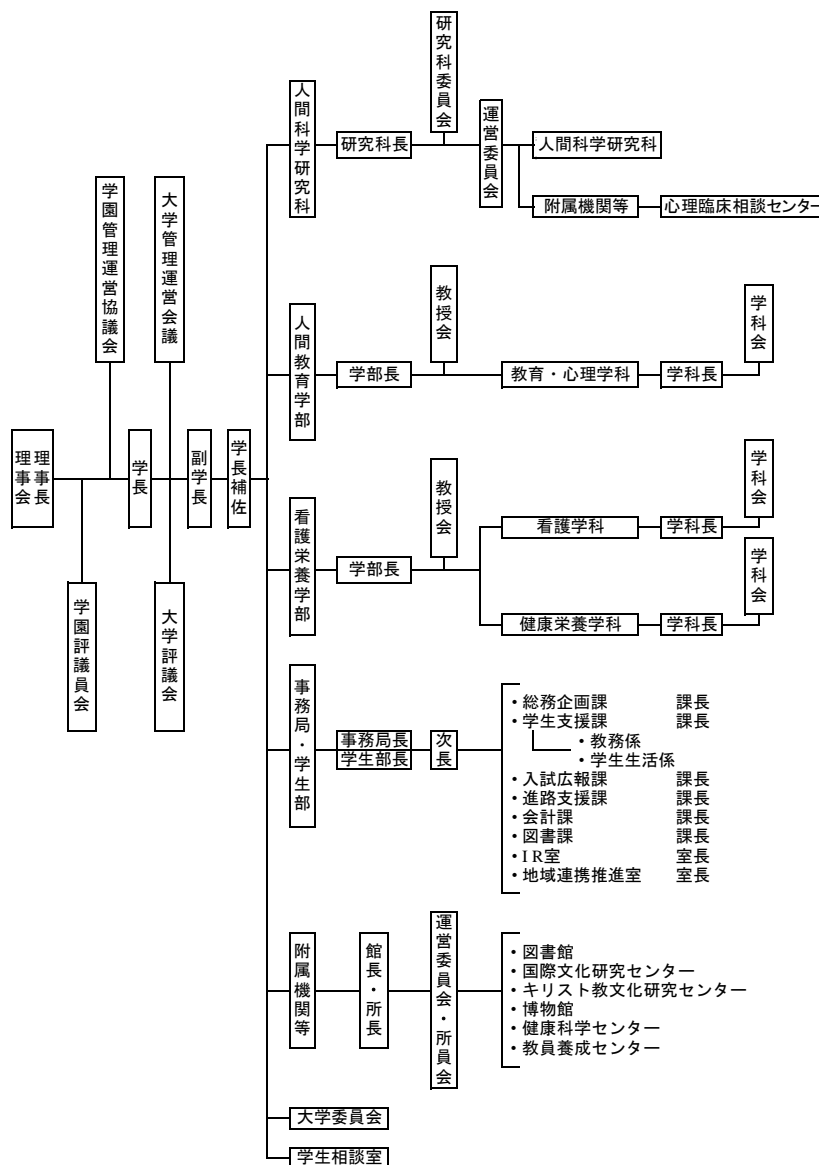


（1）教員組織、各教員が有する学位及び業績

組織機構図（令和元年 5 月 1 日現在）



注 1 教授会・・・学校教育法第 93 条で置くこととされている教授会は、大学院「研究科委員会」及び各学部「教授会」とする。

注 2 大学評議会・・・学則第 7 条で置かれる学長の諮問機関である。

各教員が有する学位及び業績（令和元年 5 月 1 日現在）

専任教員（76 名）についての情報を学科別に掲載

[〔次ページ参照〕](#)

※大学院教員は兼任のため再掲を省略

教員情報

(令和元年5月1日現在)

松下 栄子 (MATSUSHITA Eiko)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科
職名	教授 / 学長、学園理事長

【学位・業績等】

有する学位	宣教学修士
学位取得大学	ローマ教皇庁立グレゴリアナ大学宣教学部修士課程
主な担当科目	該当なし
専門分野	キリスト教学
主な研究テーマ	16世紀の日本キリシタンとヨーロッパの交流
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	「小学校の道徳—指導法と課題」2008年国際人間学部紀要第14号 「カトリック学校の全人教育」2008年キリスト教文化研究センター報告 「ザビエルがまいた種—市来のみゲルとキリシタン集団」2010年キリスト教文化研究センター報告第3号 業績等 学園評議員

教員情報

(令和元年5月1日現在)

影浦 攻 (KAGEURA Osamu)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授 / 副学長

【学位・業績等】

有する学位	教育学士
学位取得大学	広島大学
主な担当科目	児童英語、英語科教育法
専門分野	英語教育学
主な研究テーマ	小学校英語及び外国語科の指導と評価、我が国の外国語教育政策
学会・社会活動	九州英語教育学会、全国英語教育学会、小学校英語教育学会 全国小学校英語活動実践研究会(顧問) 小学校外国語活動研修講座等の講師
主な業績 (教育・研究等)	『新しい学力観に立つ英語科の評価』明治図書 1995 『新学力観に立つ英語科の授業改善』明治図書 1996 『小学校教師の基本教室英語 96選』明治図書 2006 『新しい時代の小学校英語指導の原則』明治図書 2007 『改訂英語科 新授業の実践モデル 20』明治図書 2009 『中学校英語の運用力を高める授業づくり&指導のコツ』明治図書 2012

教員情報

（令和元年5月1日現在）

山口 明美（YAMAGUCHI Akemi）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授 / 学長補佐 学部長 学科長

【学位・業績等】

有する学位	家政学修士
学位取得大学	大妻女子大学大学院家政学研究科
主な担当科目	家庭科教育法、家庭総合、被服管理学
専門分野	被服整理学 被服材料学
主な研究テーマ	中学・高等学校における家庭科教育のあり方 家庭科指導力を育成する模擬授業の効果に関する検討
学会・社会活動	日本家庭科教育学会 日本家政学会 日本繊維製品消費科学会 生活やものづくりの学びネットワーク 開発教育協会 日本アクティブ・ラーニング学会
主な業績 (教育・研究等)	小学校家庭科における衣生活分野の取り組みについて 「生きる力」「人間力」を育むために －幼児の生活時間、乳幼児の関わり方から見えてくるもの－ 家庭科の授業を担当できる小学校教員養成のあり方 九州地区の小学校教諭教職課程大学等の家庭科関連科目シラバス分析 家庭科指導力を育成する模擬授業の効果に関する検討 「小学校家庭科の授業をつくる一理論・実践と基礎知識」共著

教員情報

（令和元年5月1日現在）

藤尾 清信 （FUJIO Kiyonobu）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 こども発達コース
職名	教授 / こども発達コース長

【学位・業績等】

有する学位	教育学士
学位取得大学	鹿児島大学教育学部（音楽専攻）
主な担当科目	音楽科教育法、音楽概論
専門分野	音楽
主な研究テーマ	小学校における伝統音楽の指導のあり方
学会・社会活動	日本音楽療法学会 鹿児島県音楽教育連盟副会長
主な業績 （教育・研究等）	2008.6 若宮保育園園歌「ひとりぼっちはもういない」作曲 2009.1 和泊町ニューイヤークンサート出演（ピアノ独奏） 2009.5 垂水中央中学校校歌「永遠のわれらが母校」作曲 2009.10～ 天辰の丘ファミリーコンサート出演（ピアノ独奏等） 2012.2 喜界中学校校歌作曲 2013.2 獅子島小学校校歌作曲 2013.8 鹿児島大学混声合唱団ポリフォニーコール創立 60 周年記念合唱団練習指揮（ブラームス ドイツ・レクイエム） 2013.11 大口中央中学校校歌「十五の旅路」作曲 2015.3 南天園園歌作曲 2016.2 有馬万里代米寿記念演奏会練習指揮 2016.3 「多様なこども観の育成」こども発達臨床センター紀要 2017.3 「校歌考」こども発達臨床センター紀要 2018.3 東郷学園義務教育学校校歌作曲 2018.8 穎娃中学校校歌作曲

教員情報

（令和元年5月1日現在）

島 立久 （SHIMA Tatsuhisa）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授 / 児童生徒教育コース長

【学位・業績等】

有する学位	教育学士
学位取得大学	鹿児島大学教育学部
主な担当科目	教育実習（小学校）、算数科教育法、教職論（幼児・初等教育）
専門分野	教職課程（小学校）
主な研究テーマ	小学校算数科授業づくり
学会・社会活動	日本数学教育学会
主な業績 （教育・研究等）	<p>鹿児島県公立小学校教員・校長，鹿児島県数学教育研究会副会長・小学校部会長を経て現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自立・創造・責任による信頼される学校づくりのあり方～研究開発学校としての特色ある学校づくり」（九州地区小学校校長協 2006） ・ 「『算数科教育法』の取り組みと課題」（共著 こども学研究 8号 こども発達臨床センター 2016） ・ 「『深い学び』の実現に向けた授業づくり」（鹿児島県小学校教育研究会算数研究第56号 2017） ・ 「複式学級における同単元で行う算数科授業の提案」（共著 こども学研究 9号 こども発達臨床センター 2017） ・ 「カリキュラム・マネジメントへの『かかわり』」（鹿児島純心女子大学教員養成センター報 2017） ・ 「総合的な学習の時間の単元構想」（鹿児島純心女子大学 教員養成センター報 2018） ・ 「教材との対話～ちよっとひと工夫」（鹿児島市算数部会算数だより第64号 2018）

教員情報

（令和元年5月1日現在）

久木田 英史 （KUKITA Eishi）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻
職名	教授 / 心理・文化専攻長

【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	東京大学大学院人文社会系研究科
主な担当科目	フランス語、フランス文化論、フランス文学
専門分野	フランス文学・思想
主な研究テーマ	17世紀フランス科学思想史
学会・社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本フランス語フランス文学会 ・ 薩摩川内市民まちづくり公社理事 ・ 薩摩川内市社会教育委員
主な業績 （教育・研究等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『フランス文化事典』（共著）丸善出版 ・ 『デザルグの円錐曲線論とその歴史的意義』 共立出版「数学文献を読む会」講演 ・ Girard Desargues, maître de Pascal, <i>Revue de Langue et Littérature Françaises</i>, n° 49, Société de Langue et Littérature Française de l'Université de Tokyo ・ Théorie des coniques selon l'involution chez Desargues, 『国際人間学部紀要第24号』 鹿児島純心女子大学 ・ Représentation de la Géométrie non-euclidienne par un Modèle hémisphérique, 『国際人間学部紀要第25号』 鹿児島純心女子大学

教員情報

（令和元年5月1日現在）

藤田 千鶴子（FUJITA Chizuko）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士
職名	教授 / 人間科学研究科長

【学位・業績等】

有する学位	学術博士
学位取得大学	カナダ・アルバータ大学大学院
主な担当科目	〔学部〕 知的障害のあるこどものカウンセリング 〔大学院〕 臨床心理面接特論
専門分野	臨床教育学 研究方法論
主な研究テーマ	質的研究方法論、「物語る」ことの認識論的系譜 心理臨床学における現象学的アプローチの可能性
学会・社会活動	日本教育心理学会 日本心理臨床学会 日本保育学会 スクール・カウンセラー
主な業績 (教育・研究等)	「保育者の気づき」 「保育心理学 II」第2部第5章 東京書籍 「『みる』」ことから始めるこども学—こども支援の基礎的体験学習」全国保育士養成協議会第45回研究大会論文集 「学校臨床再考—量的研究・質的研究・臨床現場、それぞれの知見から—」日本心理臨床学会第29回秋季大会自主シンポジウム 「『連携』と『協同』の概念に関する研究の概観—概念整理と心理臨床領域における今後の課題」鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第7号 「心理臨床学的研究への現象学的アプローチの貢献の可能性—個別性と普遍性に着目して—」鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号

教員情報

(令和元年5月1日現在)

岡村 和信 (OKAMURA Kazunobu)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授 / 図書館長

【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	ゴンザガ大学
主な担当科目	アメリカ文学、アメリカ文学特別研究
専門分野	アメリカ文学
主な研究テーマ	現代アメリカ文学
学会・社会活動	日本アメリカ文学会 九州アメリカ文学会
主な業績 (教育・研究等)	<i>The Theme of the Father-Daughter Relationship in "Daddy"</i> <i>Two Themes on "Lady Lazarus"</i> <i>The Themes of Love and Childbirth in the Work of Sylvia Plath</i> 図書館長 (平成 30 年度)

教員情報

（令和元年5月1日現在）

川上 典子 （KAWAKAMI Noriko）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	MA
学位取得大学	Reading University
主な担当科目	英語科教育法、児童英語、児童英語演習、異文化コミュニケーション論
専門分野	英語教育、応用言語学
主な研究テーマ	小学校英語活動、英語教育における小中連携、教員研修
学会・社会活動	大学英語教育学会（JACET） 日本児童英語教育学会（JASTEC） 小学校英語教育学会（JES） 全国英語教育学会
主な業績 （教育・研究等）	[著書] 共著「中学校英語の運用力をつける授業づくり&指導のツボ」2012, 明治図書 共著「21世紀の英語科教育」2007, 開隆堂 [論文] 単著「英語教育のコア・カリキュラム(試案)の汎用性の検証へ向けて」 鹿児島純心女子大学紀要第23号, 2017 単著「小学校英語の教科化に向けて：研究開発校の指導体制の再考」 鹿児島純心女子大学紀要第21号, 2015 単著「英語教育における小中連携：文字指導のあり方」 鹿児島純心女子大学紀要第20号, 2014

教員情報

（令和元年5月1日現在）

釘田 雅司（KUGITA Masashi）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	教育学修士
学位取得大学	上越教育大学大学院学校教育研究科
主な担当科目	特別支援教育概論 重複障害・LD 等のあるこどもの発達と病理 I 特別支援教育課程論
専門分野	特別支援教育
主な研究テーマ	知的障害教育 特別支援学校教育課程 発達障害児への指導・支援
学会・社会活動	日本特殊教育学会 日本発達障害学会
主な業績 （教育・研究等）	<p>鹿児島県立特別支援学校教員・校長，鹿児島県教育庁特別支援教育室長等を経て現職</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダウン症児の視覚－運動能力における形態の認知機能と構成機能 1991年 日本発達障害学会 発達障害学研究第13巻 ・特別支援教育推進のための鹿児島県総合教育センターの取組 2004年 上越教育大学障害児教育実践センター紀要第10号 ・知的障害のある子どもの視覚－運動機能の協調性を育てる支援 2018年 鹿児島純心女子大学 こども学研究 こども発達臨床センター紀要第10号 ・自閉児の行動特性を活用し行動変容を図った指導事例 1994年 クロアール精神薄弱教育実践講座第2巻 ・障害児発達支援基礎用語事典 特別なニーズ教育に応えるためのキーワード110（共著） 2002年 川島書店

教員情報

（令和元年5月1日現在）

口岩 俊子 （KUCHIIWA Toshiko）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	医学博士
学位取得大学	弘前大学大学院医学研究科博士課程
主な担当科目	〔学部〕 人体探検科学、小児保健 〔大学院〕 神経学特論
専門分野	脳科学、神経解剖学
主な研究テーマ	実験動物における鬱症状の定量的評価の試み ダイオキシン胎盤・母乳暴露による脳への影響について
学会・社会活動	日本神経科学会、日本解剖学会、日本薬理学会
主な業績 （教育・研究等）	<ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation of aggressiveness of female mice using a semi-automated apparatus for measurement of aggressive biting behavior toward an inanimate object. Toshiko Kuchiiwa & Satoshi Kuchiiwa Neurosci Meth., 257(2016)179-184. 2. A novel semi-automated apparatus for measurement of aggressive biting behavior in mice. Satoshi Kuchiiwa & Toshiko Kuchiiwa Neurosci Meth., 228(2014)27-34. 3. 頭頸部の自律神経 口岩 聡、口岩 俊子 JOHNS,30(2014)1403-1407 4. 光を見るとくしゃみが出るのはなぜですか？ 口岩 聡、口岩 俊子 Clinical Neurosci., 33(2015)479 5. 特許第4858996号 【発明の名称】 刺激応答計測装置および刺激応答計測方法 【日本国登録日】 2011年11月11日

教員情報

（令和元年5月1日現在）

古閑 章（KOGA Akira）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授 / 国際文化研究センター所長

【学位・業績等】

有する学位	博士（文学）
学位取得大学	熊本大学大学院社会文化科学研究科
主な担当科目	日本近代文学、日本文学、薩摩学、こども文学
専門分野	日本近代文学
主な研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 梶井基次郎・梅崎春生・芥川龍之介などの書き手論・作品論 ・ 海音寺潮五郎・古木鐵太郎を中心とする鹿児島近代文学 ・ “読みの共振運動論”という文学理論
学会・社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本社会文学会（評議員） ・ 日本文学協会（国語教育部会委員）
主な業績 （教育・研究等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『梶井基次郎の文学』（単著、2006・3、おうふう） ・ 『天障院篤姫と権領司キヲ—時代を超えた薩摩おごじょ—』（単著、2008・6、南方新社） ・ 『新薩摩学 7 鹿児島近代文学・散文編』（編著、2009・10、南方新社） ・ 『「仕方がない」日本人をめぐって—近代日本の文学と思想—』（編著、2010・9、南方新社） ・ 『子供の世界—昭和四十年代記—』（単著、2011・10、ジャプラン） ・ 『新薩摩学 11 古木鐵太郎作品集』（編著、2015・9、南方新社）

教員情報

（令和元年5月1日現在）

小島 摩文（KOJIMA Mabumi）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授 / 博物館長

【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院
主な担当科目	〔学部〕 民俗学、こども文化概論、博物館情報・メディア論 〔大学院〕 文化人類学特論
専門分野	民俗学、民具学、博物館学
主な研究テーマ	民具研究、物質文化研究、 馬と人の関わり
学会・社会活動	日本民俗学会会員、日本民具学会会員、日本文化人類学会会員 鹿児島民俗学会会員、鹿児島民具学会副会長、比較民俗学会会員 日本生活科・総合的学習教育学会
主な業績 (教育・研究等)	「馬」『図録 メコンの世界-歴史と生態-』秋道智彌編 弘文堂 2007 「塩と茶の交易史」（共著）『地域の生態史 [モンスーンアジアの生態史第2巻]』ダニエルス・クリスチャン編 弘文堂 2008 弘文堂 (2008/5/16) 「在宅と外在化」『死の儀法-在宅死に見る葬の礼節・死生観』近藤功行編 ミネルバ書房 2008 04 「民具学としての物質文化研究」『国際常民文化研究叢書3』神奈川大学 国際常民文化研究機構 2013 「アチックフィルムにみる民具」『国際常民文化研究叢書10』神奈川大学 国際常民文化研究機構 2015 「馬具の種類と名称について-データベース化のための標準名を考える-」『神奈川大学 国際常民文化研究機構 年報 第5号』2015

教員情報

（令和元年5月1日現在）

仙波 玲子 （SEMBA Reiko）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	名古屋大学文学研究科博士後期課程
主な担当科目	ドイツ語、ドイツ文学、ドイツ文化論
専門分野	ドイツ文学・文化史
主な研究テーマ	世紀転換期ウィーンにおける日本 メルヒェンの日本における受容
学会・社会活動	2018～ 日本独文学会西日本支部幹事 2015～ 鹿児島県育英財団評議員 2017～ 薩摩川内市行政改革推進委員会委員 2018～ 薩摩川内市特別報酬等審議会委員
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. <i>Das Erzählverfahren im Prosawerk von Ingeborg Bachmann – Die Gewinnung von verlorener Sprache</i> – In:H.Scholz(Hrsg.): <i>Undine geht nach Japan. Zu interkulturellen Problemen der Ingeborg Bachmann-Rezeption in Japan.</i> trafo verlag 2001. S.105-121. 2. 「文学に見るオーストリア・ケルンテン州—境界と向き合う周縁性—」鹿児島純心女子大学国際文化研究センター編『新薩摩学 風土と人間』南方新社 2003 187～219 頁 3. 「ペーター・アルテンベルク」—世紀末ウィーンのカフェ文士」仙波玲子編『新薩摩学 知られざる近代の諸相 変革期の人々』南方新社 2013 227～265 頁 4. 「川内の僧侶 菅了法とグリム童話」古閑章・仙波玲子編『新薩摩学 もっと知りたい鹿児島』南方新社 2014 131～151 頁

教員情報

(令和元年5月1日現在)

田原 良子 (TAHARA Yoshiko)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	M.A.
学位取得大学	米アイオワ大学
主な担当科目	日本語演習、日本語教育実習
専門分野	日本語学、日本語教育
主な研究テーマ	日本語教育実習の在り方
学会・社会活動	日本語教育学会
主な業績 (教育・研究等)	「日本語プログラムにおけるシラバス作成の実証的研究-オーストラリア国交 換留学生を対象とした短期日本研修における教育実習の一環として」 「習熟度別クラス編成に関する考察」(1)～(4) 「小学校英語指導者養成の取組の成果」 “A Study of Evaluation in Teaching Practice for Elementary School English Activities”

教員情報

(令和元年5月1日現在)

洞田 勝博 (HORATA Katsuhiko)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 こども発達コース
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	工学修士
学位取得大学	広島大学大学院工業化学専攻科
主な担当科目	情報科学概論、基礎情報処理
専門分野	情報処理教育
主な研究テーマ	情報処理教育と専門教育との連携について 看護研究における動画の利用法
学会・社会活動	情報処理学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none">・授業研究 『算数科教育法』の取り組みと課題 ～授業終了後のアンケート結果からの考察～・Mahara とマルチメディアサーバ連携の試み・動画を用いたピアノレッスンの実践・グラフ的数列の帰納的構成とその数え上げ・等差素数列について など

教員情報

(令和元年5月1日現在)

三間 晶生 (MIMA Masao)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	西洋古典学修士
学位取得大学	カンザス大学大学院西洋古典学研究科
主な担当科目	英語音声学、言語学
専門分野	近世英語(アメリカ英語・方言)
主な研究テーマ	アメリカ英語の命令の仮定法 アメリカ英語の方言
学会・社会活動	日本言語学会 近代英語協会 鹿児島英語英文学会
主な業績 (教育・研究等)	『ヤッハマンへの書簡：20世紀前半の西洋古典学者たち』(翻訳) “On Multiple Relative Clauses and Double Restrictions” “19 th Century Grammar Books on Mandative Subjunctive” “How Faithful is the Dialect in <i>The Help</i> ”

教員情報

（令和元年5月1日現在）

餅原 尚子（MOCHIHARA Takako）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 児童生徒教育コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士
職名	教授 / 大学院心理臨床相談センター長

【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院人文科学研究科
主な担当科目	〔学部〕 臨床心理学、個と向き合う心理学等 〔大学院〕 臨床心理学特論、臨床心理面接特論、臨床心理査定演習等
専門分野	臨床心理学
主な研究テーマ	トラウマ（PTSD、CIS）、発達障害、情緒障害、精神障害、人格障害等の心理査定、心理面接に関する研究
学会・社会活動	<p><学会> 日本心理臨床学会・日本ロールシャッハ学会 日本人間性心理学会・日本児童青年精神医学会 など</p> <p><社会的活動> 鹿児島地方労働審議会委員／鹿児島労働局発達障害者専門指導監／ 鹿児島県社会福祉審議会委員／鹿児島県教育支援委員会委員／ 公益社団法人かごしま犯罪被害者支援センター理事 など</p>
主な業績 (教育・研究等)	<p><学術論文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・性的虐待（レイプ、セクハラ・ストーカー）により、PTSD症状を呈した2症例のロールシャッハ反応(査読付 2001) ロールシャッハ研究第5巻（日本ロールシャッハ学会）p53～66 ・性犯罪被害によるPTSDの事例へのカウンセリング～信頼の絆が結ばれるまで～（査読付 2003） カウンセリング研究、第36巻、（日本カウンセリング学会）p437～445 ・救援者のストレス（PTSD、CIS）の予防とケアに関する臨床心理学的研究（2005） 平成15～17年度科学研究費補助金（若手研究B）報告書 ・ある発達障害児への児童中心遊戯療法の過程～発達的变化に視点をあてて～（2008） 鹿児島純心女子大学心理臨床相談センター紀要第3号 P19～26 ・ロールシャッハ・テスト後に急速な回復を見せたPTSDの2事例（査読付 2015） ロールシャッハ研究第19巻（日本ロールシャッハ学会）p1～10 他約80編 <p><著書（共著）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理学辞典（恩田彰・伊藤隆二編）（1999）八千代出版 ・最新・心理学序説（本明寛監修）（2002）金子書房 ・新臨床心理学（橋口英俊・滝口俊子編著）（2004）八千代出版 ・臨床心理学（2019）—「生きる意味」の確立と心理支援— 久留一郎・餅原尚子著 八千代出版 など <p><外部資金></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年～17年（科研費）、平成17年～19年（学術研究振興資金）、平成20年～22年（科研費）、平成23～25年（科研費）、平成26年～28年（科研費）、平成29年～31年（科研費） <p>KAKEN: http://kaken.nii.ac.jp/d/r/70352474.en.html</p>

教員情報

（令和元年5月1日現在）

井上 祐子（INOUE Yuko）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	博士（社会福祉学）
学位取得大学	同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了
主な担当科目	〔学部〕 保育実習、保育実践演習、保育内容（人間関係）の理論と方法 〔大学院〕 福祉行政総論
専門分野	ソーシャルワーク論、社会福祉教育・実習、高齢者福祉、児童福祉
主な研究テーマ	福祉人材の職務体制の継続的サポートに関する研究
学会・社会活動	日本社会福祉学会、日本社会福祉士会、日本学校ソーシャルワーク学会、同志社大学社会福祉学会、日本社会福祉教育学会
主な業績 （教育・研究等）	<ul style="list-style-type: none"> • 「保育者効力感測定尺度の開発過程に関する批判的論評」井上祐子・高橋順一・中嶋和夫・黒木保博『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』25、2019、pp.1-29. • 「保育者のケアリング測定尺度の開発過程に関する批判的論評」井上祐子・高橋順一・中嶋和夫・黒木保博『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』25、2019、pp.31-47. • 「保育所保育指針における第4次改定の意義と課題」井上祐子『鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要』10、2019、pp.1-13. • 「生活困窮者自立支援法における就労支援の現状と課題」井上祐子『鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要』8、2016、pp.47-54. • 「高齢者を在宅介護する子育て世代への介護者支援に関する研究動向と課題」井上祐子『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』22、2016、pp.1-18. • 「保育者効力感に関する研究動向と課題」井上祐子『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』20、2014、pp.47-62. • 「Deci理論を基礎とする高齢者福祉施設の生活相談員の職務満足度に関する検討」井上祐子・黒木保博『社会福祉学』51(4)、2011、pp.91-103. • 「高齢者福祉施設生活相談員が必要と認知する対人福祉サービスの構造化」井上祐子『評論・社会科学』93、2010、pp.67-80. • 「ソーシャルワーカーの業務に関する先行研究の整理と課題」井上祐子『同志社大学大学院社会福祉学論集』23、2009、pp.15-26. • 「属性アプローチに関する先行研究の整理と課題」井上祐子『同志社大学大学院社会福祉学論集』22、2008、pp.14-24.

教員情報

(令和元年5月1日現在)

加藤 理恵 (KATOH Rie)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻
職名	准教授 / キリスト教文化研究センター副所長

【学位・業績等】

有する学位	学術博士
学位取得大学	九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程
主な担当科目	現代日本語研究、対照言語学、日本語教授法
専門分野	日本語学・日本語教育
主な研究テーマ	意味論・日本語教育
学会・社会活動	日本語教育学会・日本語文法学会・日本認知言語学会
主な業績 (教育・研究等)	加藤理恵(2016)「地域日本語教室での文字学習支援の必要性——2014年度日本語教育実習報告書の分析から——」鹿児島純心女子大学『国際人間学部紀要』22, 19-26. 加藤理恵(2013)「日本語話者の作文を提示した上級日本語学習者の作文へのフィードバックの検討」鹿児島純心女子大学『国際人間学部紀要』19, 67-75. 加藤理恵(2011)「学部生による日本語教育実習での学びの過程」鹿児島純心女子大学『国際人間学部紀要』17, 59-76.

教員情報

(令和元年5月1日現在)

神丸 一祐 (KAMIMARU Kazuhiro)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 こども発達コース
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	体育学士
学位取得大学	筑波大学体育専門学群
主な担当科目	健康スポーツ、健康科学 体育科教育法 保育内容(健康)・(表現)
専門分野	体育学(生理学・バスケットボール)
主な研究テーマ	・バスケットボール方法論 ・小学校における体育授業の指導法
学会・社会活動	学会： 九州体育・スポーツ学会(兼日本体育学会九州支部) 社会活動： 鹿児島県バスケットボール協会 審判委員長補佐
主な業績 (教育・研究等)	『バスケットボール競技審判の運動強度と運動効果』 『体づくり運動としてのコーディネーショントレーニング』 『小学校体育における児童の学習支援方法としての教材に関する検討』

教員情報

（令和元年5月1日現在）

栗原 真孝 （KURIHARA Masataka）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 児童生徒教育コース
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	修士（教育学）
学位取得大学	早稲田大学大学院博士後期課程（単位取得満期退学）
主な担当科目	教育原理、現代社会とこどもの権利
専門分野	教育学、教育行政学、外国籍児童生徒の教育
主な研究テーマ	外国籍児童生徒を対象とする教育政策に関する研究 鹿児島県の教育政策の動向に関する研究 アメリカにおける移民の教育に関する研究
学会・社会活動	日本教育行政学会、関東教育学会、日本比較教育学会
主な業績 （教育・研究等）	<ul style="list-style-type: none"> ・「チーム学校と学校制度改革」『こども学研究』（鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要）、第10号、2018年、14-23頁。 ・「鹿児島県における戦後教育改革の受容」『新薩摩学』第13号、2018年、147-163頁。 ・「明治時代における学校教育の普及政策—鹿児島県を事例として—」『こども学研究』（鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要）、第9号、2017年、47-54頁。 ・「日本における教育課程改革の動向—学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂を中心にして—」『こども学研究』（鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要）、第9号、2017年、55-62頁。 ・「いのち・栄養・学校教育の諸問題—世界のこどもたちの「いま」について考える—」『新薩摩学』第12号、2016年、195-205頁。 ・「ニューヨーク市における英語能力が十分ではない児童生徒の実態—日本の外国籍児童生徒の教育への示唆—」『こども学研究』（鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要）、第8号、2016年、55-62頁。 ・「市町村長による県立高校教育政策への関与の実態—鹿児島県を事例として—」鹿児島純心女子大学国際人間学部編『国際人間学部紀要』第22号、2016年、67-83頁。 ・「日本における外国籍児童生徒を対象とする地方教育政策の実施状況」『比較教育学研究』第50号、2015年、3-23頁。 ・「異文化のなかの子ども・青年と教育行政 異文化にどう向き合うか」小松茂久編『教育行政学—教育ガバナンスの未来図』昭和堂、2013年、155-171頁。 ・「外国人の子どもの不就学問題に関する地方教育行政の可能性と限界」『関東教育学会紀要』第38号、2011年、27-38頁。

教員情報

(令和元年5月1日現在)

ルイーズ・ケネディー (KENNEDY Louise)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	B.A.Degree
学位取得大学	English German Higher Diploma in Education
主な担当科目	リーディング、プレゼンテーション、ビジネスイングリッシュ
専門分野	English Literature
主な研究テーマ	Celtic Traditions
学会・社会活動	International Committee Junshin ; Library Committee Junshin
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

（令和元年5月1日現在）

広瀬 健一郎 （HIROSE Ken' ichiro）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 こども発達コース
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	教育学修士
学位取得大学	北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程
主な担当科目	子育ての原理、保育内容総論、教育実習（幼稚園）
専門分野	教育学（教育史・比較教育・教育実践論）
主な研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代カナダ先住民族教育史 ・ 保育者養成実践研究
学会・社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ カナダ教育学会理事 ・ 日本教育学会会員 ・ 日本カナダ学会会員
主な業績 （教育・研究等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「先住民の自治——「主権の喪失と回復追究の近現代史」、細川道久編『カナダの歴史を知る 50 章』、明石書店、2017 年。 ・ 「先住民族研究から見える奄美研究の可能性—「新薩摩学」と「奄美学」の知的融合に向けて—」（仙波玲子・古閑章編『新薩摩学 10 もっと知りたい鹿児島』、南方新社、2014 年）。 ・ 「戦後カナダの先住民族に対する経済開発政策と教育—1946-1969」（岸上伸啓編『北アメリカ先住民の社会経済開発』、明石書店、2008 年）。 ・ 『東京イチャルパへの道—明治初期のアイヌ教育をめぐって』（長谷川修、狩野雄一との共著、現代企画、2008 年）。 ・ 岡本拡子編『つくってさわって感じて楽しい 実習に役立つ表現遊び②』（共著、北大路書房、2007 年）。

教員情報

(令和元年5月1日現在)

クリストファー・メディーナ (MEDINA Christopher)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	Doctor of Philosophy
学位取得大学	Pacific Western Univ.
主な担当科目	インターラクティブイングリッシュ、ディベート、ファウンデーションコース
専門分野	English Language Education, Applied Linguistics, American Culture and History
主な研究テーマ	The Science of Learning: How the Brain Changes with the Acquisition of Language
学会・社会活動	Kagoshima SDA Christ Church Elder Le Grand Tennis Club member
主な業績 (教育・研究等)	Using technology to enhance English education. Understanding Generation Z and specifically developing teaching methods for them.

教員情報

(令和元年5月1日現在)

山根 真太郎 (YAMANE Shintaro)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	広島大学大学院文学研究科博士課程
主な担当科目	中国語入門、中国語文化論
専門分野	古代漢語語法
主な研究テーマ	古代漢語特殊語法研究 使動用法、文末語気詞の連用、虚字「之」の用法など
学会・社会活動	日本中国語学会 日本中国学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none">・ 文末語気詞の連用の順序について—先秦漢語語音から—(共著) 『下関市立大学論集』第42巻第3号, 123頁~139頁, 平成11年1月・ 周而復『長城万里図2 長江』晃洋書房, 翻訳221頁~254頁, 平成14年3月・ 薩摩藩と唐通事—『南山俗語琉球詞和解』を手がかりとして —『新薩摩学3』南方新社, 75頁~115頁, 平成16年12月・ 周而復『長城万里図5 黎明』三文社, 翻訳183頁~357頁, 平成22年8月・ 章炳麟—学問ある革命家— 『新薩摩学9』南方新社, 141頁~180頁, 平成25年3月

教員情報

(令和元年5月1日現在)

ニコラス ウォルターズ (WALTERS Nicholas)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 児童生徒教育コース
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	MA in TESOL
学位取得大学	University of Edinburgh
主な担当科目	リーディング、ライティング、イギリス史
専門分野	イギリス史、英語教育
主な研究テーマ	イギリス史、英語教育
学会・社会活動	Cambridge Exams Speaking Examiner Trainer
主な業績 (教育・研究等)	<i>Jane Austen's Pride and Prejudice</i> The use of Mystery Television Programmes in the EFL classroom Britain in the 1960s A Report on the Preparation of Resources for a History Course for EFL University Students An Investigation into Different Theories and Methodologies Related to The Teaching of English as a Foreign/Second Language Preparing a Course of Study for Elementary School Students Part 1: A Summary of the Relevant Literature Part 2: A Discussion of Issues Relating to Curriculum and Syllabus Design

教員情報

(令和元年5月1日現在)

成願 めぐみ (JOGAN Megumi)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	修士 (心理臨床学) 修士 (言語・文化)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科 清泉女子大学大学院人文科学研究科
主な担当科目	[大学院] 臨床心理基礎実習、精神分析療法特論、特別研究
専門分野	心理臨床学
主な研究テーマ	パーソナリティ障害、トラウマ、箱庭療法
学会・社会活動	日本心理臨床学会 日本ロールシャッハ学会
主な業績 (教育・研究等)	論文： 「PTSD (Posttraumatic Stress Disorder) と BPD (Borderline Personality Disorder) のロールシャッハ反応にみられるトラウマの影響」、「トラウマを抱えた少女の「再生」の歩み—イメージ (心象) による回復の過程—」、「知的機能のアセスメントに関する一考察」他

教員情報

(令和元年5月1日現在)

末吉 卓也 (SUEYOSI Takuya)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等(英語)教育専攻 こども発達コース
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	哲学修士
学位取得大学	上智大学大学院哲学研究科前期博士課程
主な担当科目	キリスト教概論、キリスト教論、聖書講読
専門分野	哲学
主な研究テーマ	キリスト教的人間理解
学会・社会活動	上智大学哲学会
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

（令和元年5月1日現在）

アンドリュー・ダニエルズ（DANIELS Andrew）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	文学修士
学位取得大学	ロンドン大学
主な担当科目	英語による日本文化、比較文化論
専門分野	Marginal Landscapes and Pilgrimage Routes Studies on the Iconography of Landscapes (Woodland)
主な研究テーマ	Comparative Use of Woodland Landscapes (with specific reference to Yakushima,) St. Cuthbert on Holy Island. A Dual Role of the Sanctuary. Pilgrimage Routes and their Revival
学会・社会活動	English Step Test Examiner
主な業績 (教育・研究等)	2012 Parkland Tree Conservation in the 21 st Century. Westonbirt Arboretum and potential schemes in Kagoshima 2013 St. Cuthbert’s Legacy of Environmental Concern on the Farne Islands 2014 The North Wales Pilgrim’s Way. Spiritual Revival in a Marginal Landscape 2015 Landscapes on the Edge. A Note on the Resonance of Liminality of Place in the Work Of Philip Larkin and Paul Farley 2015 Bullfighting on Tokunoshima. A Personal Perspective. 2017 Surrounded by Ambiguity: Landscape and Language in ‘Wulf and Eadwacer’

教員情報

（令和元年5月1日現在）

中村 誠文（NAKAMURA Masafumi）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士・公認心理師
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	心理臨床学修士
学位取得大学	鹿児島純心女子大学大学院
主な担当科目	〔学部〕 公認心理師の職責、社会・集団・家族心理学 〔大学院〕 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と方法
専門分野	臨床心理学 家族療法・短期療法
主な研究テーマ	不登校支援における心理臨床家の役割に関する研究 シングル・セッションに関する研究 心理臨床における「連携」と「協働」に関する研究
学会・社会活動	日本心理臨床学会 家族心理学会 鹿児島精神神経学会 九州心理学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「連携」と「協働」の概念に関する研究の概観—概念整理と心理臨床領域における今後の課題— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第7号（共著） ・心理臨床学的研究への現象学的アプローチの貢献への可能性—個別性と普遍性に着目して— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号（共著） ・教育現場における心理臨床家の役割—教員への不登校支援に視点をあてたアンケート調査から— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号 ・拘束と記述から得られるもの—ベイトソンの認識論から— International Journal of Brief Therapy and Family Science (I.J.B.F.) Vol. 5, No. 1（共著） ・障害児支援の変遷と今後の可能性について—「連携」に視点をあてて— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第11号 ・スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーによる連携・協働に関する—考察— 鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要第8号 <p style="text-align: right;">など</p>

教員情報

（令和元年5月1日現在）

野村 亮太 （Nomura Ryota）	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	修士（心理学），博士（心理学），博士（工学）
学位取得大学	九州大学大学院，九州大学大学院，東京理科大学大学院
主な担当科目	基礎心理学，学習・言語心理学
専門分野	心理学
主な研究テーマ	噺家の熟達化
学会・社会活動	日本笑い学会，日本認知科学会，日本心理学会，日本教育心理学会
主な業績 （教育・研究等）	<p>Nomura, R., Liang, Y.-Z., Morita, K., Fujiwara, K., Ikeguchi, T. (2018). Threshold-varying integrate-and-fire model reproduces distributions of spontaneous blink intervals. PLoS ONE 13(10): e0206528.</p> <p>Nomura, R., Hino, K., Shimazu, M., Liang, Y., & Okada, T. (2015). Emotionally excited eyeblink-rate variability predicts an experience of transportation into the narrative world. Frontiers in Psychology doi: 10.3388/fpsyg.2015.0447.</p> <p>野村亮太・岡田猛(2014) 話芸鑑賞時の自発的なまばたきの同期 認知科学, 21(2), 226-244.</p> <p><著書（単著）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラミング思考のレッスン 「私」を有能な演算装置にする（2019）集英社新書 ・ 口下手な人は知らない話し方の極意 認知科学で「話術」を磨く（2016）集英社新書

教員情報

(令和元年5月1日現在)

八田 冷子 (YATSUDA Reiko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授 / 看護学科長

【学位・業績等】

有する学位	修士 (医療福祉ジャーナリズム学)
学位取得大学	国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科修士課程
主な担当科目	公衆衛生看護学概論、保健指導技術論、社会保障制度と健康
専門分野	公衆衛生看護学 社会保障制度 (介護保険)
主な研究テーマ	地域包括ケアと保健師の役割
学会・社会活動	学 会 ; 日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会 鹿児島県公衆衛生学会、日本統合医療学会 社会活動 : 鹿児島県認知症総合支援対策促進協議会委員 鹿児島県国民健康保険運営協議会委員 鹿児島県介護予防事業推進支援委員会委員 平成 28 年度地域保健従事現任教育推進事業評価検討会委員 平成 28 年度厚労省老人保健健康増進事業、保険者機能強化中央研修 (仮称) プログラム策定に関する調査研究事業委員会委員
主な業績 (教育・研究等)	修士論文 : 「地域包括ケアと保健師の役割～鹿児島をモデルとした現状と展望～」 (2016.3) 訪問看護支援システムから地域ネットワークを考える (2011.5 : 共同研究) 保健師の資質向上に向けた現任教育体制づくりに関する調査研究 (2013.5 : 共同研究) 地域包括ケアの構築における自治体、保健師の役割 (2015.1 : 週刊保健衛生ニュース) みんながつくる「地域包括ケア学習交流会」～「私が住みたい街」のつくり方～報告集「いきいき地域づくり」の手引き 編集 厚生労働大臣表彰 (2018.2.13)

教員情報

（令和元年5月1日現在）

小楠 範子 （OGUSU Noriko）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	看護学博士
学位取得大学	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士後期課程
主な担当科目	建学の精神と看護、老年看護学概論
専門分野	老年看護学
主な研究テーマ	高齢者の終末ケア
学会・社会活動	2008, 9～ 薩摩川内市社会福祉協議会評議員 2009, 4～ 日本養護教諭養成大学協議会評議員 2009, 4～ 日本老年社会科学会「老年社会科学」査読委員 2012, 10～ 薩摩川内市地域密着型サービス運営委員
主な業績 （教育・研究等）	小楠範子(2010). 拘束の弊害の一側面としてのスピリチュアル ペイン. ホスピスケアと在宅ケア, 18(3), 318-324 小楠範子(2008). 退院後の生活の場の決定に参加できない高齢者の体験. 老年 社会科学, 30(3), 404-414 小楠範子(2008). 高齢者の終末期の意思把握としての回想の可能性. 日本看護 科学会誌, 28(2), 46-54

教員情報

(令和元年5月1日現在)

小湊 博美 (KOMINATO Hiromi)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授, 学生部長

【学位・業績等】

有する学位	看護学学士 教育学修士
学位取得大学	高知県立高知女子大学 鹿児島大学大学院教育学研究科
主な担当科目	看護原論、緩和ケア学、キャリア発達論
専門分野	基礎看護学 発達心理学
主な研究テーマ	看護学生の職業的アイデンティティ形成に関する研究
学会・社会活動	日本看護研究学会 評議員 日本看護倫理学会 評議員 鹿児島大学病院治験薬等審査会委員
主な業績 (教育・研究等)	1. 看護学生の職業的アイデンティティ形成に関する研究 2. 看護におけるアカウンタビリティと患者の知る権利 -患者の権利と看護の責任- 3. 看護理論学習が看護学生の看護論構築に及ぼす影響 4. 無菌操作の技術修得における学生の認識の発展 5. 緩和ケア棟における実習体験が学生に及ぼす影響

教員情報

（令和元年5月1日現在）

下野 義弘 （SHIMONO Yoshihiro）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院保健学研究科
主な担当科目	精神看護学、人間関係論
専門分野	精神看護学
主な研究テーマ	精神障害者への看護
学会・社会活動	日本精神保健看護学会、日本精神科看護学会、日本看護協会 日本精神科看護協会鹿児島県支部顧問 薩摩川内市障害認定審査会委員
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堤由美子, 榎元美紀代, 下野義弘, 島元敬志, 精神科における事前情報が看護者の印象形成に及ぼす影響-ネガティブ情報を用いて, 日本精神保健看護学会誌, Vol.11, No.1, pp.19-31 (2002). ・ 前園進, 下野義弘. 単科公立精神科病院における敷地内禁煙後の実態調査, 日本精神科看護学術集会, 2012.6 (大阪) ・ 荒井春生, 久松美佐子, 齊藤 康司, 黒岩 京子, 下野 義弘, 精神科病院における緩和ケアの現状と課題, 日本精神科看護学会誌, Vol.56, No.1, pp.31-38 (2013). ・ 日高大介, 桃木野三ち代, 下野義弘他. 医療観察法病棟における患者を「ゆらす」ことの意義, 日本看護協会誌, Vol.56, No.1, pp.58-61 (2013). ・ 野間浩史, 下野義弘. 医療観察法下での外出に対するスタッフの思い, 第 59 回九州精神医療学会, 2013.11 (鹿児島) ・ 中川路治子, 下野義弘他. 精神科訪問看護利用者の服薬に対する思いの分析, 日本精神科看護学術集会, 2016.6 (岩手) ・ 下野義弘共著: 看護学生のための精神看護学 (7章 症状別看護), 大学教育出版, 2017. ・ 下野義弘共著: 2018 年看護師国家試験対策, 出題傾向が見える精神看護学, ピラールプレス, 2017. ・ 畠中靖彦, 下野義弘他. A 病院における暴力報告の実態調査と今後の課題, 第 64 回九州精神医療学会, 2018.12 (福岡) ・ 中川路治子, 下野義弘他. 再入院を防いでいるもの - 訪問看護記録からの分析 -, 第 64 回九州精神医療学会, 2018.12 (福岡)

教員情報

(令和元年5月1日現在)

園田 麻利子 (SONODA Mariko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	保健学修士
学位取得大学	琉球大学大学院保健学研究科
主な担当科目	がんを病む人の援助論、実践看護学演習、感染看護
専門分野	成人看護学
主な研究テーマ	慢性期にある患者の看護、看護学生に関する教育の在り方
学会・社会活動	日本看護協会 看護研究学会 日本緩和医療学会 がん看護学会 日本看護学教育学会 日本放射線看護学会
主な業績 (教育・研究等)	1)看護学生の領域別実習前の演習における学び 2)看護学生の「生と死」に対する考え方の推移 3)実習前演習の評価 4)自己効力感を高める実習前演習のあり方の検討 5)ターミナルケアの授業における学生の死生観に関する検討

教員情報

（令和元年5月1日現在）

七川 正一（NANAKAWA Shoichi）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	岡山県立大学大学院保健福祉学研究科
主な担当科目	看護研究法、生活再構築援助論（病態編）、看護探検
専門分野	成人看護学
主な研究テーマ	デジタル動画を用いた救急蘇生法に関する教材の作成と評価 救急蘇生法に関する教育効果の検討
学会・社会活動	日本看護研究学会 日本救急医学会九州地方会
主な業績 （教育・研究等）	<ol style="list-style-type: none"> 1) 成人看護実習における事例発表会の学びと課題の検討 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 21 巻, 46-53, 2017 2) 高速船旅客集団事故対策訓練に負傷者役で参加した学生の学びに関する報告 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 19 巻, 37-42, 2015 3) 2011 年保健師助産師看護師養成所指定規則が改正に伴う教育課程の概要 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 17 巻, 1-9, 2013 4) ACLS 対応のステップアップ学習 4 年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 15 巻, 95-102, 2011 5) 【症例とチャートでよくわかる呼吸器のフィジカルアセスメント】 無気肺を防ぐためのアセスメント 呼吸器ケア 4 巻 5 号, 538-543, 2006

教員情報

（令和元年5月1日現在）

山本 英次（YAMAMOTO Eiji）	
所属	看護栄養学部 看護学科、 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	医学博士
学位取得大学	鹿児島大学医学部
主な担当科目	〔学部〕 生活調整援助論（病態編）、こども成育論 〔大学院〕 小児医学特論
専門分野	小児循環器病学 小児科学
主な研究テーマ	看護教育における病態生理の理解度の向上に関する研究
学会・社会活動	所属学会：日本小児科学会 日本小児循環器学会 社会活動：鹿児島市学校心臓検診協力医
主な業績 （教育・研究等）	<ol style="list-style-type: none"> 1) 臨地実習における感染防止対策—麻疹・風疹・ムンプス・水痘の抗体保有率 2) ACLS 対応のステップアップ学習～学習プログラムの概要ならびに1年目の報告 3) ACLS 対応のステップアップ学習～2年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告 4) ACLS 対応のステップアップ学習～3年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告 5) ACLS 対応のステップアップ学習～4年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告

教員情報

（令和元年5月1日現在）

山田 美幸 （YAMADA Miyuki）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	宮崎大学
主な担当科目	援助技術論、生活援助論
専門分野	基礎看護学
主な研究テーマ	教員のリフレクションに関する研究 発達障害傾向のある看護学生への支援に関する研究
学会・社会活動	日本看護研究学会 日本看護学教育学会 日本看護科学学会 質的統合法（KJ法）研究会
主な業績 （教育・研究等）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 山田美幸, 加瀬田暢子, 岩本テルヨ (2005). 特別養護老人ホームのターミナルケアにおける看護職者の課題－特別養護老人ホームの全国調査から－. 南九州看護研究誌, 3(1), 23～31. 2. 加瀬田暢子, 前田ひとみ, 山田美幸他3名 (2007). 新人看護学生に対する「仲間づくり演習」の評価－エンカウンターとリフレクションの概念を取り入れて－. 南九州看護研究誌, 5(1), 1～10. 3. 山田美幸, 前田ひとみ, 津田紀子, 串間秀子 (2008). 新卒看護師の離職防止に向けた支援の検討－就職3か月の悩みと6か月の困ったことの実態分析－. 南九州看護研究誌, 6(1), 47～54. 4. 山田美幸, 鶴田来美, 長谷川珠代 (2008). 独居高齢者の閉じこもり要因と介護予防プログラムに関する研究. 平成18～19年度科学研究費補助金研究成果報告書（課題番号18592425） 5. 山田美幸, 津田紀子, 前田ひとみ (2013). 看護学生が臨地実習におけるケアリング体験の意味を構築する過程. 日本看護教育学会誌, 22(3), 1～12. 6. 前田ひとみ, 南家貴美代, 古庄夏香, 波止千恵, 松永麻起子, 荒尾博美, 鶴田明美, 山田美幸他4名 (2013). 看護学生が臨地実習で振り返りたい場面の構造. 熊本大学医学部保健学科紀要, 9, 53～62. 7. 山崎律子, 中野智裕, 五反田龍宏, 檜村友隆, 山田美幸, 阿部一之, 松田洋和 (2016). 段階的な多職種連携教育の実践の成果と課題. 純真学園大学雑誌, (5), 55～62.

教員情報

（令和元年5月1日現在）

浅野 倫子 （ASANO Rinko）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	看護学研究科修士課程 がん看護学専攻
学位取得大学	武蔵野大学大学院
主な担当科目	在宅看護論
専門分野	エンドオブライフケア
主な研究テーマ	がん看護 在宅看護 意思決定支援 家族ケア
学会・社会活動	日本がん看護学会・日本家族看護学会の学会員 NPO法人 ニューマン理論・研究・実践研究会の正会員
主な業績 （教育・研究等）	1. 著書 1) 遠藤恵美子, 三次真理, 宮原知子編著: マーガレット・ニューマンの理論に導かれたがん看護実践 ナースの見方が変わり、ケアが変わり、患者・家族に違いが生まれる第Ⅱ章実践編 ナースは、患者・家族のパターンから、そこに映し出されている意味をつかむ一重要なことは、パターンを感じ取るナースの感受性, 看護の科学社, p43-51, 2014. 2. 論文 1) 浅野倫子, 遠藤恵美子: 最期の療養生活のあり様に揺れるがん患者とその家族と訪問看護師との対話を通じた看護ケアの研究—ニューマンの健康の理論に基づいたケアの試み—, 武蔵野大学紀要, 2012. 2) 古里倫子, 遠藤恵美子, 高木真理, 宮原知子: 第7回ターミナル期のAさんとその両親と私の寄り添い ニューマン理論に導かれた寄り添いから生まれた‘つながり’のケアとそれが意味すること, マーガレット・ニューマンの理論に基づく看護実践—看護師の見方が変わり、ケアの違いを生み出す—, 看護実践の科学 38(8) p43-53, 2013. 3. 学会発表 1) 古里倫子, 西山郁子, 谷川納子: 在宅で看取った家族の心理状態と看護師の関わり, 家族看護研究 11(2), p103, 2005. 2) 宮原知子, 森谷紀代子, 古里倫子, 倉持亜希, 高橋麻里子: ニューマン理論に基づく終末期患者とその家族（意識）の拡張を促すケアのあり方—修士課程の学生との授業を通しての探究—, 日本がん看護学会誌 25（特別号）, p113, 2011. 3) 古里倫子, 遠藤恵美子: 最期の療養生活のあり様に揺れるがん患者とその家族と訪問看護師との対話を通じた看護ケアの研究, 日本家族看護学会プログラム抄録集 19回, p102, 2012. 4) Rinko Furusato, Emiko Endo: Pattern Recognition Through Dialogue in Family -Nurse Partnership Care within Margaret Newman's Theory and Differences Made in Both Family And Nurse, 11 th International Family Nursing Conference, 2013. 5) 西園あゆみ 浅野倫子 久永真由美: 死期が近い患者と遠方にいる家族とを結びつけた家族ケアについて, 日本がん看護学会プログラム抄録集 31回, 2017.

教員情報

(令和元年5月1日現在)

有松 操 (ARIMATSU Misao)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	医学博士
学位取得大学	熊本大学大学院
主な担当科目	看護診断学概説
専門分野	基礎看護
主な研究テーマ	看護教育、若年女性の健康づくり
学会・社会活動	日本看護研究学会、日本看護科学学会
主な業績 (教育・研究等)	Correlation between bone mineral density and body composition in Japanese females aged 18-40 years with low forearm bone mineral density. <i>Enviromental Haeth and Preventive Medicine</i> , 14, 2009 インストラクショナルデザイン力の開発に関する研究—良い授業 研修をするための認識; ワークショップ前後の変化. 日本看護協会出版会 第39回日本看護学会論文集—看護教育, 39, 2008

教員情報

(令和元年5月1日現在)

塩満 芳子 (SHIOMITSU Yoshiko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	修士 (スポーツ科学)
学位取得大学	早稲田大学大学院スポーツ科学研究科
主な担当科目	地域保健診断、地域看護
専門分野	地域看護 災害看護 介護予防
主な研究テーマ	災害時における看護職の役割、多職種との協働
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none">1) 老人福祉センターA型における看護職と福祉職の緊急対応自己効力感とその関連要因. 応用老年学, 6(1), 39-49, 20122) 東日本大震災における被災地復興に向けた保健師の取り組み. インターナショナルナーシングレビュー, 35(3), 173-179, 2012.3) 比較的ゆとりもてる臨地実習で看護計画の立案に重点を置く. 第3章[報告]さまざまな“在宅看護”実習の現場. コミュニティケア, 17(13), 55-59, 2015

教員情報

（令和元年5月1日現在）

白水 美保 （SHIRAMIZU Miho）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士（看護学）
学位取得大学	鹿児島大学大学院保健学研究科（保健学専攻・臨床看護学分野）
主な担当科目	助産診断・技術学演習
専門分野	母性看護学・助産学に関する分野
主な研究テーマ	母親の心理・子育てに関する研究 性教育に関する研究
学会・社会活動	日本看護協会会員 日本看護科学学会会員 鹿児島子どもの虐待問題研究会会員 鹿児島県小児保健学会会員 GID（性同一性障害）学会会員
主な業績 （教育・研究等）	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域別にみた保護者の子どもへのう歯予防行動に関する意識とう歯発生との関係 ② 医療機関における乳幼児健康診査のあり方に関する研究 —保健所における乳幼児健診との比較— ③ 小児看護学実習前後の子ども観の変化 ④ 看護技術教育の充実に向けた取り組みについて ⑤ 性同一性障害の子どもをもつ母親の体験の意味 —性同一性障害を受容することの意味—

教員情報

(令和元年5月1日現在)

永濱 佳織 (NAGAHAMA Kaori)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	千葉大学大学院看護学研究科
主な担当科目	生活調整援助論(看護編)、プレゼンテーション技法
専門分野	成人看護学
主な研究テーマ	臨地実習における学生の患者本位の思考形成の過程について
学会・社会活動	日本看護研究学会 鹿児島県看護協会川薩地区教育委員(2013.4.1~2015.3.31)
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

（令和元年5月1日現在）

福永 知久（FUKUNAGA Tomohisa）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 看護科学域
主な担当科目	こども看護学、小児保健概論
専門分野	小児看護、子どもの保健、乳児保育
主な研究テーマ	乳幼児期の健康と成長発達に関する研究
学会・社会活動	日本小児保健協会、日本看護科学学会、日本小児看護学会、日本保育学会、 日本保育保健協議会
主な業績 （教育・研究等）	<p>（共著）子ども学がやってきた。高橋弥生編著。一藝社。2017.</p> <p>（単著）小児期・思春期を対象とする専門職に必要な保健の知識－小児肥満における子育て支援と生活習慣・発達障害との関連。人と教育。2018.</p> <p>（共著）乳児保育－子ども・家庭・保育者が紡ぐ営み－。入江慶太編著。教育情報出版。2018.</p> <p>（共著）0歳児の指導計画完全サポート。原孝成監修。新星出版社。2019.</p> <p>（単著）高等教育における「乳幼児の養護と教育に関わる科目」の教授のあり方－演習科目の効果的な内容と授業形態－。目白大学総合科学研究。2019.</p> <p>（単著）子どもの健康と育ちを支える専門職のあるべき姿－病気や障がいに対する子どもと家族の理解・反応に焦点をあてた支援－。人と教育。2019.</p>

教員情報

（令和元年5月1日現在）

前原 宏美（MAEHARA Hiromi）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	九州看護福祉大学
主な担当科目	精神健康論 精神看護学 看護リフレクション
専門分野	精神看護学
主な研究テーマ	感情労働 コミュニケーションスキル
学会・社会活動	日本思春期学会 日本看護学教育学会 日本看護研究学会 日本健康医学会 医療の質・安全学会 日本感情心理学会
主な業績 （教育・研究等）	前原宏美：〔活動報告〕思春期男女の演劇活動：生きる力，自己成長，自己効力感，こころの居場所としての効果．思春期学 34（3）346-355 2016 前原宏美：〔資料〕看護学生のコミュニケーション・スキル習得に関する研究概観．日本看護学教育学会誌 26（2）95-100 2016 前原宏美，久佐賀眞理，前原潤一：〔研究報告〕青年期女子の母性意識とダイエット行動の関連．女性心身医学 31（2）186-194 2016 前原宏美，久佐賀眞理，福本久美子，柴尾嘉洋，前原潤一：〔原著論文〕女子大学1年生のダイエット行動：体型による比較．思春期学 35（1）144-151 2017 前原宏美，前原潤一：〔紀要論文〕精神科看護師のバーンアウト：精神科職場環境ストレスと感情労働との関連．帝京大学福岡医療技術学部紀要 12 67-76 2017 前原宏美，久佐賀眞理，福本久美子，柴尾嘉洋，前原潤一：〔原著論文〕青年期女子の母性意識と幼少期における体験の関連．健康支援 20（1）43-55 2018 前原宏美，前原潤一，米元富貴代：〔紀要論文〕精神科看護師の感情労働の分類によるバーンアウトの関係性．帝京大学福岡医療技術学部紀 13 63-72 2018 前原宏美，前原潤一：〔原著論文〕精神科看護師のアサーションと患者・看護師の信頼関係形成に向けたかかわり．日本健康医学会雑誌 27（1）24-33 2018 前原宏美，前原潤一：〔原著論文〕精神科看護師の感情労働とコミュニケーションスキルの関連．医療の質・安全学会誌 13（3）255-266 2018 前原宏美：演劇を行っているものにおける自己成長と自己効力感が生きる力の及ぼす影響．思春期学 37（1）160-167 2019

教員情報

(令和元年5月1日現在)

諸永 純子 (MORONAGA Junko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	北里大学大学院看護学研究科
主な担当科目	発達援助論、老年看護学
専門分野	急性重症患者看護、老年看護
主な研究テーマ	クリティカルケア、せん妄、認知症ケア
学会・社会活動	クリティカルケア学会
主な業績 (教育・研究等)	1. 「集中治療室看護師のせん妄ケアの探求 -看護師の葛藤を導く曖昧なせん妄判断と手探りのケア-」：北里看護学誌,15(1),P80-82,2013

教員情報

(令和元年5月1日現在)

山崎 智子 (YAMASAKI Tomoko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院修士課程
主な担当科目	健康論, 認知症援助論
専門分野	老年看護領域
主な研究テーマ	グループホーム実習において学生がとらえる高齢者看護の特徴
学会・社会活動	日本認知症ケア学会
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

（令和元年5月1日現在）

鞍掛 洋美 （ KURAKAKE Hiromi ）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	学士（看護学）
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	保健指導技術論、福祉・組織実習、健康教育論
専門分野	公衆衛生看護学
主な研究テーマ	
学会・社会活動	鹿児島県公衆衛生学会、鹿児島県小児保健学会
主な業績 （教育・研究等）	<教育> ・鹿児島県立高等学校衛生看護科 教諭（1999.4～2007.3） ・鹿児島純心女子大学看護栄養学部看護学科 助教（2019.4～） <研究> ・高等学校衛生看護科の生徒を対象とした教授法（共著）、第3回日本看護研究学会・九州地方会、1999.3 ・南薩圏域における産後のメンタルヘルス支援の取組について、第55回鹿児島県公衆衛生学会、2013.5 ・在宅気管カニューレ装着児への地域支援について、第27回鹿児島県小児保健学会、2013.8 ・医療的ケアを必要とする児への地域支援体制構築に向けた取組について一考察、第56回鹿児島県公衆衛生学会、2014.5 ・在宅気管カニューレ装着児への地域支援について、小児保健かごしま第27号、2014.8 ・加世田保健所における健やか育児サポート事業「ママリラックス教室」の3年間のまとめ（共著）、小児保健かごしま第27号、2014.8 ・始良・伊佐地域における小児在宅医療推進に向けた取組（誌上发表）、第61回鹿児島県公衆衛生学会、2019.5

教員情報

(令和元年5月1日現在)

宮ノ下 敏子 (MIYANOSHITA Toshiko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	該当なし
学位取得大学	
主な担当科目	母性保健概論 母性看護学 母性看護実践
専門分野	
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

（令和元年5月1日現在）

宮村 裕子 （MIYAMURA Yuko）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	修士（看護学）
学位取得大学	熊本大学
主な担当科目	実践看護学演習、健康回復支援実践
専門分野	成人看護学、小児看護学
主な研究テーマ	小児の末梢静脈持続点滴管理・小児の点滴時における血栓形成に関する研究
学会・社会活動	<p>（学会） 日本看護協会、日本看護研究学会、日本看護技術学会、バイオメディカル・ファジィ・システム(BMFSA)学会、国際学会、看護理工学会</p> <p>（社会活動） 日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法普及事業における新生児蘇生法（NCPR）のインストラクター活動、新生児蘇生法1次コース（Bコース）の開催等</p>
主な業績 （教育・研究等）	<p>（雑誌・論文等） Nakata S., Miyamura Y. and Tamagawa M., Effects of Impinging Jet Flow on Platelets Adhesion by CFD Analysis with Consideration of Particle Motion for Predicting Thrombus Formation, ICIC Express Letters, Part B: Applications, ICIC Express Letters. Hirayama C., Miyamura Y., Tamagawa M. Effects of flow asymmetricity on thrombus formation and hemolysis properties in the pipe orifice flow by CFD analysis, ICIC Express Letters, Part B: Applications, 2018, ICIC Express Letters.</p> <p>宮村裕子, 吉牟田純一郎, 山口泰伸, 玉川雅章, 乳幼児点滴時のカテーテル周辺の血栓形成とその因子群の流動場への影響について, 第31回バイオメディカル・ファジィ・システム学会年次大会(BMFSA2018).</p> <p>宮村裕子, Shet Pramod, 吉牟田純一郎, Pai Raghuvir, 玉川雅章, 乳幼児啼泣時の点滴留置針まわりの血栓形成とそのモデルのCFDによる流動解析, 第30回バイオメディカル・ファジィ・システム学会年次大会(BMFSA2017).</p> <p>（受賞歴） 第30回バイオメディカル・ファジィ・システム学会年次大会(BMFSA2017) 学生研究奨励賞. 第6回看護理工学会学術集会研究奨励賞. （学会発表等） 宮村裕子, 山口泰伸, 玉川 雅章, 乳幼児の体動および点滴固定による留置針周囲の血栓形成について, 山口泰伸, 宮村裕子, 玉川 雅章, 末梢静脈血管内カテーテルまわりの流れの数値解析と血栓形成, 2018年度日本機械学会流体力学部門講演会. 宮村裕子, 前田ひとみ, 0~3歳児の末梢持続点滴トラブルに関連する動作の探索. 第42回日本看護研究学会学術集会. 宮村裕子, 前田ひとみ, 0~3歳児の末梢持続点滴中の行動に関する研究. 第20回日本看護研究学会日本看護研究学会沖縄・九州地方会学術集会.</p>

教員情報

（令和元年5月1日現在）

牟田 京子 （MUTA Kyoko）	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	教育学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院教育学研究科（教育学修士）
主な担当科目	看護入門, 異文化体験, こども看護学, 女性と日本文化
専門分野	こども看護学, 生涯学習・社会教育
主な研究テーマ	
学会・社会活動	<p><所属学会> 日本社会教育学会・九州教育学会・公共コミュニケーション学会 生活体験学習学会</p> <p><査読経験> 公共コミュニケーション学会学会誌『公共コミュニケーション研究』2017年</p> <p><社会活動> 文部科学省共催「鹿児島大学生涯学習憲章策定ワークショップ」ファシリテーター-2013年 内閣府次世代グローバルリーダー事業帰国報告会実施（2015年～） 内閣府地域課題対応人材育成事業地域コアリーダープログラム事例発表（2017年）</p>
主な業績 （教育・研究等）	<p><教育歴：教育機関> 鳳凰高等学校 助教諭（基礎看護学）1997年 鹿児島県立短期大学社会福祉論「女性の生き方」2013年 志学館大学インターンシップ科目「企画力養成講座」2014年～2016年 鹿児島大学 TA（情報活用基礎）2015年 鹿児島大学「鹿児島から考える多文化共生」2015年 鹿児島大学「保育学Ⅰ企画力養成講座」2015年 鹿児島大学「国際協力入門」2015年 鹿児島大学 非常勤講師（初年次セミナー）2016年 鹿児島純心女子大学 助教 2017年～</p> <p><研究> ・地域の学びの場を創る（鹿児島大学生涯学習教育研究センター年報, 2013） ・対話を通じた若者の居場所づくりの取り組み（鹿児島大学生涯学習教育研究センター年報, 2014） ・社会教育の「共同学習」論に関する現代的再検討（修士論文, 2015） ・若者が自立・活躍できる社会の実現を目指して（かごしま生涯学習研究, 2017） ・若者のキャリア発達を促進する社会教育の在り方に関する一考察（鹿児島純心大学教育養成センター報, 2017） ・看護基礎領域におけるキャリア教育の有効性と課題に関する研究（鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要, 2018）</p> <p><学会発表> ・九州教育学会第66回大会「子ども・若者の自己形成空間と居場所づくりに関する研究-ナラティブ・アプローチの視点から-」2014年 ・第1回公共コミュニケーション学会「子ども・若者の自己形成空間の再構築に関する研究-『ナラティブ・カフェ』の実践から-」2015年 ・生活体験学習学会第16回研究大会「若者の居場所づくりを促進する実践的事例研究」2015年</p> <p><ポスターセッション> 日本広告学会 ポスターセッション『ナラティブ・カフェ』の実践から-ソーシャル・ストーリー・マーケティング手法としての可能性（2015年）</p>

教員情報

(令和元年5月1日現在)

山下 里奈 (YAMASHITA Rina)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士
学位取得大学	熊本大学大学院
主な担当科目	診療援助論、学校保健
専門分野	基礎看護学
主な研究テーマ	主体的学習に基づく効果的な基礎看護技術教育に関する研究
学会・社会活動	日本看護研究学会会員 日本看護技術学会会員
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none">・緩和ケア棟における実習体験が学生に及ぼす影響(2) 共著 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 vol18 2014.3・緩和ケア棟における実習体験が学生に及ぼす影響(2), 第18回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会, 2013.3月・ビデオ映像を用いた振り返りが車椅子移乗技術の自主練習に及ぼす効果, 日本看護技術学会第16回学術集会, 2017.10月

教員情報

(令和元年5月1日現在)

奥平 綾美 (OKUHIRA Ayami)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	学士 (看護学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	健康回復支援 (基礎・応用)
専門分野	成人看護
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

(令和元年5月1日現在)

新福 絵里香 (SHINPUKU Erika)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	該当なし
学位取得大学	
主な担当科目	助産診断・技術実践
専門分野	
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

(令和元年5月1日現在)

福岡 真理 (FUKUOKA Mari)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	看護学士
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	健康回復支援実践
専門分野	成人看護領域
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	1) 成人看護実習における事例発表会の学びと課題の検討 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 21 巻, 46-53, 2017

教員情報

(令和元年5月1日現在)

脇園 幸恵 (WAKIZONO Yukie)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	学士(看護学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	発達援助実践、看護方法論実践
専門分野	基礎看護学領域
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

(令和元年5月1日現在)

坂井 恵子 (SAKAI Keiko)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授 / 看護栄養学部長、健康栄養学科長

【学位・業績等】

有する学位	薬学博士
学位取得大学	鹿児島大学／名古屋市立大学
主な担当科目	栄養学総論、生化学、生命科学
専門分野	脂質栄養、生化学、分子生物学
主な研究テーマ	情動機能と栄養、 筋ジストロフィー（タイプⅠ、Ⅱ）における RNA CUG 結合たんぱく質の病態に及ぼすメカニズム
学会・社会活動	学会：American Association of Academy of Sciences The New York Academy of Sciences 日本脂質栄養学会、日本臨床栄養学会、日本アレルギー学会 社会活動：さわやか健康栄養教室講師、調理師資格試験講習会講師 日本脂質栄養学会評議員 薩摩川内市環境審議会委員
主な業績 (教育・研究等)	<ol style="list-style-type: none"> Huichalaf C., Sakai K., et al., Expansion of CUG RNA repeats causes stress and inhibition of translation in Myotonic Dystrophy 1 cells. FASEB J., 24:3706-19, 2010 Sakai K., Tiebel O., et al., A neuronal VLDL variant lacking the third complement-type repeat exhibits high capacity binding of apoE containing lipoproteins. Brain Res. 1276:11-21,2009 Salisbury E., Sakai K., et al., Ectopic expression of cyclin D3 corrects differentiation of DM1 myoblasts through specific activation of RNA CUG-binding protein, CUGBP1. Exp.Cell Res.,314:2266,2008 坂井恵子他, 乳酸菌食と脂質の質の相互作用がラットの肝臓と血液性状に及ぼす影響. 鹿純大紀要, 21. 28-34, 2017 坂井恵子他, 乳酸菌摂取と脂質および自発運動がラットの攻撃行動に及ぼす影響. 鹿純大紀要, 21: 35-40, 2017

教員情報

（令和元年5月1日現在）

岩田 真一 （IWATA shin-ichi）	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	医学博士
学位取得大学	鹿児島大学医学部
主な担当科目	〔学部〕 医療概論、解剖生理学、看護薬理学 〔大学院〕 精神薬理学特論
専門分野	神経内科、薬理学
主な研究テーマ	パーキンソン病
学会・社会活動	神経内科専門医（指導医） 日本薬理学会学術評議員 日本神経精神薬理学会評議員 総合内科専門医
主な業績 （教育・研究等）	<p>Parkinson 病の痛み. 神経内科 66 : 94-97, 2007.</p> <p>Delayed L-DOPA-induced hyperalgesia. Pharmacol. Biochem. Behav. 85: 643-647, 2006.</p> <p>Administration of haloperidol and biperiden reduces mRNAs related to the ubiquitin-proteasome system in mice. Synapse 56: 175-184, 2005.</p> <p>Antinociceptive mechanism of L-DOPA. Pain 110: 246-249, 2004.</p> <p>Gene expression profiling in the midbrain of striatal 6-hydroxy-dopamine-injected mice. Synapse 51: 279-286, 2004.</p>

教員情報

（令和元年5月1日現在）

獅子目 博文 （SHISHIME Hirofumi）	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	国文学士
学位取得大学	高知大学文学部文学科（国文学専攻）
主な担当科目	生徒指導の研究、教職論、教育制度論
専門分野	教職課程
主な研究テーマ	かごしまの教育 教員養成プログラムの研究
学会・社会活動	九州教育経営学会、九州教育学会、日本生徒指導学会
主な業績 （教育・研究等）	<p>鹿児島県立高等学校教員、鹿児島県立高等学校校長、鹿児島県総合教育センター一所长、鹿児島県教育庁高校振興課課長、鹿児島県教育庁教育次長、鹿児島県生活指導研究協議会会長</p> <p>現在、NPO 法人造士館講座理事長</p> <p>共著『教育実践に役立つ生徒指導・進路指導』（あいり出版、2013）</p> <p>「社会性を育むために一言語表現力の育成—」（『鹿児島純心女子大学キリスト教文化研究センター報告』第4号 2012年3月）</p> <p>「地域連携教育プロジェクトによる実践的指導力育成の取組み」（共同執筆『教師教育研究』第27号 2014年3月）</p> <p>「教員養成における実践的指導力育成の一方策～小学生の体験活動を企画立案する取組～」（『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』第23号 2017年3月）</p> <p>「鹿児島県の学力向上と教師の役割」（『鹿児島純心女子大学教員養成センター一報』創刊号 2017年12月）</p>

教員情報

（令和元年5月1日現在）

中野 隆之（NAKANO Takayuki）	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授

【学位・業績等】

有する学位	医学博士、農学修士
学位取得大学	鹿児島大学大学院農学研究科修士課程
主な担当科目	食品学総論，食品機能論，食品加工学
専門分野	食品機能学，食品科学，電気生理学
主な研究テーマ	食品の成分分析と生理機能に関する研究
学会・社会活動	日本栄養・食糧学会，日本生化学会，日本農芸化学会 日本食品科学工学会，日本聴覚医学会
主な業績 (教育・研究等)	<p>分子栄養学（建帛社）</p> <p>食べ物と健康 ―食品学，食品機能学，食品加工学―（医歯薬出版株式会社） （2017）</p> <p>ボタンボウフウ葉と桑葉を含む青汁食品摂取による食後血糖値上昇抑制効果 検証試験 ―無作為化二重盲検クロスオーバー試験― <u>中野 隆之</u>，野崎 勉，田中 郁郎，木村 昌代，石原 健夫 （査読有）薬理と治療（JPT）Vol.44, No.3 p391-p397（2016）</p> <p>The development of the new black vinegar and the function <u>T. Nakano</u>, T. Nozaki, K. Ishihara ICoFF 2015 The 6th Inter-national Conference on Food Factors Nov. 22~25, 2015 Coex, Seoul, Republic of Korea</p> <p>In vitro anticancer activity of loquat tea by inducing apoptosis in human leukemia cells Phyu Phyu Khine Zar, Satoshi Yano, Kozue Sakao, Fumio Hashimoto, <u>Takayuki Nakano</u>, Makoto Fujii and De-Xing Hou （査読有）Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, 78(10): p1731-p1737（2014）</p> <p>DEVELOPMENT OF A NONDESTRUCTIVE DETECTOR OF UNSUITABLE CHICKEN EGGS USING LED LIGHTS FOR INFLUENZA VACCINE PRODUCTION K. Kimura, K. Nakano, S. Ohashi, <u>T. Nakano</u></p>

教員情報

（令和元年5月1日現在）

森中 房枝（MORINAKA Fusae）	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授 / キリスト教文化研究センター所長

【学位・業績等】

有する学位	家政学士
学位取得大学	日本女子大学家政学部食物学科
主な担当科目	調理学、調理学実習、純心講座
専門分野	調理学
主な研究テーマ	伝え継ぐ日本の家庭料理「鹿児島」の食文化
学会・社会活動	日本栄養士会会員，日本調理科学会，日本栄養改善学会，日本食育学会
主な業績 （教育・研究等）	著書： 1. 「海の恵みレシピ集 海洋深層水を使って」（共著 2007 南方新社） 2. 「古閑章編「新薩摩学 12」 鹿児島島の食の奥義を探る」（共著 2016 南方新社） 3. （別冊うかたま）「伝え継ぐ日本の家庭料理」著作委員（共著 2017～2021 発行継続中農文協） 論文・業績 1. イスズミの食品利用の拡大に向けて（水産工学 Vol.48 No.1） 2. 鹿屋市笠之原につたわる高麗餅「シロ」に関する調査研究 （鹿児島純心女子大学紀要第 19 号） 3. 磯焼けを起こす植食性魚類の有効利用への取り組みについて （鹿児島純心女子大学紀要第 19 号） 4. 平成 24～26 年度「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」聞き書き調査報告書 （一般社団法人日本調理科学会） 5. 鹿児島県薩摩川内市下甕島手打地区の郷土料理と食生活（食生活研究 2017. Vol. 37） 他

教員情報

(令和元年5月1日現在)

石崎 由美子 (ISHIZAKI Yumiko)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	家政学士
学位取得大学	日本女子大学家政学部食物学科
主な担当科目	公衆栄養学、公衆栄養学実習、栄養情報処理
専門分野	公衆栄養学
主な研究テーマ	鹿児島県の農村地域における健康・食生活状況調査
学会・社会活動	鹿児島農村医学研究会幹事 九州農村医学会評議員 日本栄養改善学会員 NPO 法人 健康運動指導士会 鹿児島県支部副支部長
主な業績 (教育・研究等)	・「一農村地域における食品摂取頻度にみる食生活状況」 鹿児島純心女子短期大学 研究紀要第 31 号 P137~152 2001,3 ・「乳幼児の食生活に関する母親の意識・行動の変化」 鹿児島純心女子短期大学 研究紀要第 31 号 P153~166 2001,3

教員情報

(令和元年5月1日現在)

木之下 道子 (KINOSHITA Michiko)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	準学士
学位取得大学	純心女子短期大学
主な担当科目	病態栄養学、臨床栄養管理学、臨床栄養活動論
専門分野	病態栄養
主な研究テーマ	CKDにおけるたんぱく制限食の治療効果
学会・社会活動	日本静脈経腸栄養学会、日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本調理科学会、鹿児島県栄養士会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none">・重症心身障害児(者)における栄養必要量の見直し・がん患者における症状別レシピ集・鹿児島県における脳血管疾患が多い地域と少ない地域での減塩に対する意識調査・地域連携のための栄養管理標準化の検討 第1報・地域連携(医療・介護・在宅)に必要な栄養管理情報に関する実態調査・「伝え継ぐ 日本の家庭料理」著 分担・学生を対象とした塩分摂取調査「減塩食試食前後の食塩に対する意識変化」

教員情報

(令和元年5月1日現在)

福元 耐子 (FUKUMOTO Tayuko)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	準学士
学位取得大学	熊本女子短期大学
主な担当科目	給食経営管理論、給食経営管理応用実習、調理学実験
専門分野	給食経営管理実習
主な研究テーマ	<ul style="list-style-type: none">・大量調理における生産計画とP D C Aサイクルの動向・女子学生の給暇中の食傾向と基礎食品群との関連
学会・社会活動	日本調理科学会 日本栄養士会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none">・食欲低下の患者に対する栄養管理・家庭における食塩摂取量の推定・聞き取り調査法と家庭畜尿法の併用による食生活への影響因子の検討・女子学生の一日の食塩摂取量及び食傾向について

教員情報

（令和元年5月1日現在）

松元 圭太郎（MATSUMOTO Keitaro）	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	博士（農学）
学位取得大学	京都大学大学院農学研究科食品工学専攻
主な担当科目	食品衛生学、運動生理学、食品学実験
専門分野	運動と栄養、食品衛生学
主な研究テーマ	運動と栄養、食品の安全性
学会・社会活動	所属学会：日本栄養・食糧学会、日本体力医学会、 日本栄養改善学会、日本臨床栄養学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県内にて販売されたウナギ加工食品における原料のウナギ種の調査（2013-2017年） 松元圭太郎、角田香澄、加藤恵理、神野沙耶香、富田茉幸、池上菜穂子、小濱翔子、久木園優子、田畑結衣、黒江由莉子、海田彩夏、横山愛、岩田萌子、村田真琴、若林瑞季、佐々木優、下橋樺奈、野田観世 <i>鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要</i> 22, 38-47, 2018. ・機能性表示食品の認知および機能性表示に関わる食品区分の違いの認識 松元圭太郎、寺園春風 <i>鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要</i> 21, 13-21, 2017. ・食品の安全性 松元圭太郎 <i>栄養素でわかる食品と健康 WEB 運動テキスト</i> 柴田克己・木戸康博 共編著(培風館), p164-177, 2016. ・健康科学系女子大学生における特定保健用食品の食用油の利用実態 松元圭太郎、村上太郎、石原健吾、岡村浩嗣、矢口友理、小野智子、藤井久雄、橋場直彦 <i>日本栄養・食糧学会誌</i> 68, 233-241, 2015. ・自炊とレシピ集に対する栄養系と体育系の一人暮らしの学生の認識 奥村友香、岡村浩嗣、小清水孝子、柳沢香絵、松元圭太郎 <i>日本スポーツ栄養研究誌</i> 8, 11-18, 2015. ・運動とエネルギー代謝・健康増進と運動 松元圭太郎 <i>応用栄養学</i> 伏木亨・山崎英恵 編著(アイ・ケイコーポレーション), p142-154, 2013. ・Branched-chain amino acid supplementation attenuates muscle soreness, muscle damage and inflammation during an intensive training program. Matsumoto K, Koba T, Hamada K, Sakurai M, Higuchi T, Miyata H. <i>J Sports Med Phys Fitness</i> 49: 424-431, 2009. ・Branched-chain amino acids and arginine supplementation attenuates skeletal muscle proteolysis induced by moderate exercise in young individuals. Matsumoto K, Mizuno M, Mizuno T, Dilling-Hansen B, Lahoz A, Bertelsen V, Munster H, Jordenig H, Hamada K, Doi T. <i>Int J Sports Med</i> 28: 531-538, 2007.

教員情報

（令和元年5月1日現在）

今村 佳代子（IMAMURA Kayoko）	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	家政学修士
学位取得大学	日本女子大学大学院家政学研究科食物・栄養学専攻
主な担当科目	栄養教育論、栄養カウンセリング論、応用栄養学
専門分野	栄養教育、スポーツ栄養（公認スポーツ栄養士）
主な研究テーマ	学童期の親子を対象とした食育の実施 スポーツをする高校生・大学生への栄養教育
学会・社会活動	日本栄養士会、鹿児島県栄養士会、日本栄養改善学会（評議員） 日本スポーツ栄養学会、日本動脈硬化学会、 日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本臨床栄養学会
主な業績 （教育・研究等）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常朝食型高脂肪負荷食 Kisei-meal による食後高脂血症の評価と食後 TG-rich リポ蛋白代謝に及ぼす影響. 動脈硬化, 28 : 205-213, 2001 : <u>今村佳代子</u>, 丸山千寿子, 都島基夫, 京谷晋吾, 中野里美, 仲森隆子, 丸山太郎 2. Effects of tomato juice consumption on plasma and lipoprotein carotenoid concentrations and the susceptibility of low density lipoprotein to oxidative modification. Journal of Nutritional Science and Vitaminology, 47 : 213-221, 2001 : C Maruyama, <u>K Imamura</u>, S Oshima, M Suzukawa, S Egami, M Tonomoto, N Baba, M Harada, M Ayaori, T Inakuma, T Ishikawa 3. Assessment of LDL particle size by Triglyceride / HDL-Cholesterol ratio in non-diabetic, healthy subjects without prominent hyperlipidemia. J Atheroscler Thromb, 10 : 186-191, 2003 : C Maruyama, <u>K Imamura</u>, T Teramoto 4. 鹿児島県内小学校における食育の現状. 鹿児島純心女子大看護栄養学部紀要, 13 : 43-51, 2009 : <u>今村佳代子</u>, 原口美穂, 迫田真貴子, 瀬戸梢, 瀬上綾, 松木田恵美, 和田みゆき 5. 母親の食生活に対する行動変容の準備性と児童の朝食摂取との関係. 日本公衆衛生学会誌, 59 : 277-287, 2012 : <u>今村佳代子</u>, 瀬上綾, 和田みゆき, 迫田真貴子, 瀬戸梢, 原口美穂, 松木田恵美, 丸山千寿子 6. 男子高校生における習慣的運動と食生活および食意識との関係. 鹿児島純心女子大看護栄養学部紀要, 22 : 48-54, 2018 : <u>今村佳代子</u>, 久永まゆみ, 染川真里佳, 池田ちほみ, 大小田桃子, 野村果代, 和田麻希

教員情報

（令和元年5月1日現在）

仲 沙織 （NAKA Saori）	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	博士（臨床心理学）
学位取得大学	福岡大学大学院人文科学研究科教育・臨床心理専攻博士課程後期
主な担当科目	〔学部〕 心理学概論、発達と教育、心理学研究法 〔大学院〕 臨床心理地域援助特論 障害児(者)心理学特論、臨床心理実習
専門分野	臨床心理学
主な研究テーマ	精神科アウトリーチにおける臨床心理学的地域援助に関する研究 多職種協働に関する研究
学会・社会活動	＜学会＞ 日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本保健福祉学会、日本コラージュ療法学会 など
主な業績 (教育・研究等)	<p>＜論文＞</p> <p>米国・英国における地域精神医療のあゆみー臨床心理士の役割に注目してー （2014）福岡大学臨床心理学研究、第13巻、p3-10.</p> <p>我が国における地域精神医療のあゆみー臨床心理士の役割に注目してー （2014）福岡大学臨床心理学研究、第13巻、p11-18.</p> <p>「包括型地域生活支援プログラム」従事者が心理職に求めることーあるチームの半構造化面接からー（2015）福岡大学大学院論集、第47巻第1号、p33-51.</p> <p>「包括型地域支援プログラム」における臨床心理士の役割と今後の課題ー半構造化面接の分析からー（2015）福岡大学臨床心理学研究、第14巻、p17-23.</p> <p>「包括型地域生活支援プログラム」従事者が心理職に求めることー質問紙調査を用いてー（2016）病院・地域精神医学、第58巻第3号、p277-285.</p> <p>アウトリーチサービス利用者のニーズから見た心理職の可能性の検討（2016）日本保健福祉学会誌、第23巻第1号、p65-72.</p> <p>臨床心理士養成大学院における学外実習の現状についてー医療領域のアウトリーチの視点から課題を探るー（2018）人間科学研究科紀要、第13号、p3-10.</p> <p>精神科アウトリーチにおける臨床心理士の支援に関するー考察ー10の事例から見たものー（2018）心理臨床学研究、第36巻第2号、p120-130.</p> <p>アウトリーチにおける心理職の支援の実際（2018）日本保健福祉学会誌、第25巻第1号、p9-20.</p> <p>強迫症状を訴える50代女性との面接過程ーコラージュ・ボックス法を通してー（2019）国際人間学部紀要、第25号、p71-91.</p>

教員情報

(令和元年5月1日現在)

幾代 以子 (IKUYO Yoriko)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	修士 (応用生物学)
学位取得大学	中部大学大学院応用生物学研究科
主な担当科目	栄養学実験・生化学実験
専門分野	環境生物学
主な研究テーマ	共生・寄生に関する研究
学会・社会活動	衛生動物学会、日本線虫学会、日本ダニ学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>Ikuyo Y.</u>, Kabir F., Ozawa S., Koike Y., Ishiguro H., Hasegawa K.: Characterisation and pathogenicity of <i>Ditylenchus dipsaci</i> isolated from <i>Phlox subulata</i> in Japan. <i>Nematology</i>, 20(8), 811-814 (2018) ・ Vicente C. S., Nascimento F. X., <u>Ikuyo Y.</u>, Cock P. J., Mota M., Hasegawa K.: The genome and genetics of a high oxidative stress tolerant <i>Serratia</i> sp. LCN16 isolated from the plant parasitic nematode <i>Bursaphelenchus xylophilus</i>. <i>BMC Genomics</i> 17, 301 (2016) ・ Vicente C. S., <u>Ikuyo Y.</u>, Shinya R., Mota M., Hasegawa K.: Catalases Induction in High Virulence Pinewood Nematode <i>Bursaphelenchus xylophilus</i> under Hydrogen Peroxide-Induced Stress. <i>PLoS One</i> 10(4), e0123839 (2015) ・ Takahashi A., Nakayama R., Ishibashi N., Doi A., Ichinohe R., <u>Ikuyo Y.</u>, Takahashi T., Marui S., Yasuhara K., Nakamura T., Sugita S., Sakamoto H., Yoshida T., Hasegawa T., Takahashi H.: Analysis of Gene Expression Profiles of Soft Tissue Sarcoma Using a Combination of Knowledge-Based Filtering with Integration of Multiple Statistics. <i>PLoS ONE</i> 9(9), e106801 (2014) ・ Vicente C. S., <u>Ikuyo Y.</u>, Mota M., Hasegawa K.: Pine wood nematode-associated bacteria contribute to oxidative stress resistance of <i>Bursaphelenchus xylophilus</i>. <i>BMC Microbiology</i> 13, 299 (2013)

教員情報

（令和元年5月1日現在）

新里 葉子 （SHINSATO Yoko）	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	博士（農学）
学位取得大学	鹿児島大学大学院連合農学研究科
主な担当科目	給食経営管理実習
専門分野	給食経営管理論、調理学
主な研究テーマ	給食経営管理に関する研究
学会・社会活動	日本栄養士会、日本調理科学会、日本栄養・食糧学会 所属
主な業績 （教育・研究等）	<p>林葉子、竹田千重乃：給食経営管理実習における食材料費の評価., 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要, Vol.17, 49-58 (2013)</p> <p>林葉子、安藤より子、安楽絵美、北之口陽子、森田由佳、竹田千重乃：給食経営管理実習での実施献立についての検討～実施献立の栄養価計算による塩分計算値と、実施献立における実測塩分量の差について～., 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要, Vol.16, 22-30 (2012)</p> <p>今村佳代子、林葉子、久永まゆみ、興野真由美：管理栄養士による料理教室の実施と学生への教育効果., 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要, Vol.16, 53-60 (2012)</p> <p>Y. Hayashi, S. Nagano, H. Enomoto, C. -P. Li, Y. Sugimoto, H. R. Ibrahim, H. Hatta, C. Takeda, T. Aoki: Improvement of foaming property of egg white protein by phosphorylation through dry-heating in the presence of pyrophosphate., Journal of Food Science, 74 (1), C68-C72 (2009)</p> <p>Y. Hayashi, C. -P. Li, H. Enomoto, H. R. Ibrahim, Y. Sugimoto, T. Aoki: Improvement of functional properties of ovotransferrin by phosphorylation through dry-heating in the presence of pyrophosphate., Asian-Australasian Journal of Animal Sciences, 21 (4), 596-602 (2008)</p>

教員情報

（令和元年5月1日現在）

久永 まゆみ （HISANAGA Mayumi）	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	人間環境学修士
学位取得大学	福岡女子大学大学院人間環境学研究科
主な担当科目	解剖生理学実験、応用栄養学実習、食品加工学実習
専門分野	
主な研究テーマ	スポーツをする若年者の食事・栄養に関する研究
学会・社会活動	日本栄養士会 鹿児島県栄養士会 日本栄養・食糧学会 日本スポーツ栄養学会 日本栄養改善学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士による料理教室の実施と学生への教育効果 今村佳代子,林葉子,久永まゆみ,興野真由美 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.16 P53～60 (2012) (学会発表) ・女子体操部に所属する児童生徒における栄養摂取状況および食意識の現状 久永まゆみ, 今村佳代子：日本スポーツ栄養学会 第2回大会 (2015) ・男子バスケットボール部に所属する選手と保護者の食意識 久永まゆみ, 今村佳代子：日本スポーツ栄養学会 第3回大会 (2016) ・保護者の食意識の違いが高校男子バスケットボール選手の食意識および体格に与える影響 久永まゆみ, 今村佳代子他：日本スポーツ栄養学会 第4回大会 (2017)

教員情報

(令和元年5月1日現在)

山下 陽司 (Yamashita Yoji)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助教

【学位・業績等】

有する学位	文化情報学修士
学位取得大学	同志社大学大学院文化情報学研究科
主な担当科目	健康統計学、情報処理、情報科学概論
専門分野	統計科学・大規模データ分析
主な研究テーマ	一般構造化成分分析とその拡張について シンボリックデータ解析について
学会・社会活動	日本統計学会・日本計算機統計学会・医学教育学会
主な業績 (教育・研究等)	〈発表〉 <i>Fuzzy clusterwise generalized structured component analysis with non-negative constraint</i> , International Conference for JSCS 30th Anniversary in Seattle, 2016. 〈論文〉 日本の医学部医学科における統計学の入門講義の実態調査. 計量生物学 Vol.35 No2 p95-105, 2015.

教員情報

(令和元年5月1日現在)

前原 史奈 (Maehara Fumina)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	学士 (栄養学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	食品加工学実習
専門分野	
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

(令和元年5月1日現在)

西村 亜里香 (NISHIMURA Arika)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	学士 (栄養学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	食品学実験、食品衛生学実験、栄養教育論実習
専門分野	
主な研究テーマ	
学会・社会活動	日本栄養士会、鹿児島県栄養士会
主な業績 (教育・研究等)	

教員情報

(令和元年5月1日現在)

八ヶ代 友香 (YAKASHIRO Yuka)	
所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助手

【学位・業績等】

有する学位	学士 (栄養学)
学位取得大学	鹿児島純心女子大学
主な担当科目	調理学実習
専門分野	
主な研究テーマ	
学会・社会活動	日本栄養士会、鹿児島県栄養士会
主な業績 (教育・研究等)	